

会員No. 132 / 三重県度会郡 高洋電機株式会社



1. DMU50とUltrasonicを担当する製造部 辻課長。
2. DMU50で削ったモリブデンの多孔加工。外形φ28のモリブデンに0.2mmの1628穴で高洋電機のロゴマークが削られている。

所在地 三重県度会郡玉城町中楽639-1
 会社情報 1951年創業、1973年設立
 従業員数 グループ全体 210名
 得意な加工 特殊超合金や純金属などの難削材
 の高精度、量産加工
 問合せ先 高祖社長
koso_power@koyofirst.jp
 ホームページ <http://koyofirst.jp/>

1951年に創業した高洋電機は、自動車や産業機械、建機、事務用機器など幅広い産業の部品加工を担う。1983年には(株)コーヨーファーストを設立、鍵・錠前の総合メーカーである美和ロック(株)のユニット部品を加工から組み立てまでを担当する。合計210名程の従業員で約300台の設備機を動かし、多くのお客様の要望に応えられる体制を築いてきた。

難削材を高精度で量産できるのは、高洋電機だけ

高洋電機が難削材の加工に挑戦したのは、2008年からはじまった世界金融危機（通称：リーマンショック）がきっかけだ。売り上げが1/3まで減少し必死で営業活動を広げる中、特殊なフィラメントのタングステン加工の話もらった。これを成功させたことでタングステンからモリブデン、ハステロイ、タンタル、プラチナと、レパトリを増やしていった。2015年には“難加工技術展”に出席して経験を積むと、2022年にはアメリカの展示会に挑戦。難削材の加工で世界にチャレンジできると実感した。2023年はアメリカやスイス、国内で合計9回の展示会に参加する予定だ。狙うのは、世界で「難削材なら高洋電機」と言われること。難削材を高精度で加工できる会社は複数あっても量産できる会社は少ない。難削材、±3ミクロンの高精度加工、月産1万個の量産、この3つの実現できるのは高洋電機だけ。今後、世界に勝負するために必要なのは一緒に挑戦する仲間を見つけること。5軸加工研究会の中でパートナーとなる企業とつながりたい。